

第 5 回
久慈川・那珂川流域治水協議会

取 組 事 例 紹 介

－茨城県水戸市－

目 次

取組①

水害リスクの見える化（情報発信の強化）

取組②

流域における雨水貯留機能の向上
（調整池整備，各戸貯留の取組）

今後の取組①

水戸市立地適正化計画の見直し（防災指針の策定）

今後の取組②

準用河川における氾濫推定図の作成に向けて

取組① 水害リスクの見える化 ～防災ラジオ等を活用した情報発信の強化～

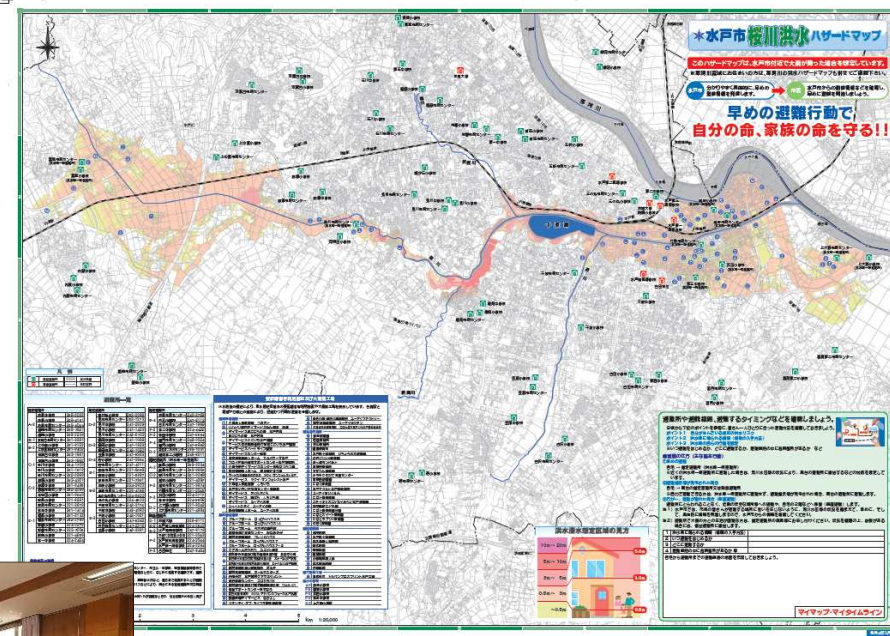
○桜川流域（茨城県管理区間）での洪水浸水想定区域図が新たに公表
（令和4年2月28日）

■取組概要

☞水戸市桜川洪水ハザードマップを作成（令和4年3月）

☞自主防災組織や町内会、消防団、民生委員等への説明会
（令和4年4月随時）

☞防災用自動起動ラジオ（防災ラジオ）の
無償貸与（随時）



地域住民説明会の様子

○今後の取組について

・ 其他県管理河川の洪水浸水想定区域図の策定と連動したハザードマップの随時作成



目 次

取組①

水害リスクの見える化（情報発信の強化）

取組②

流域における雨水貯留機能の向上
（調整池整備，各戸貯留の取組）

今後の取組①

水戸市立地適正化計画の見直し（防災指針の策定）

今後の取組②

準用河川における氾濫推定図の作成に向けて

取組②— 1 流域における雨水貯留機能の向上（調整池整備・R3着手）

■取組概要

- 涸沼前川流域における流域治水対策
- JR常磐線内原駅南エリアの住宅地内に内水氾濫が常態化し、冠水箇所の中には小・中学校や消防署も立地
- 最大貯留量10,400m³の調整池および導水路を新規整備する



調整池の整備状況（令和4年12月時点）



調整池及び導水路整備
池容量 10,400m³

■取組による効果

- ・下流河川への負荷軽減が期待される。
- ・内水はん濫による浸水被害の軽減が期待される。

取組②ー 2 流域における雨水貯留機能の向上（調整池整備・新規着手）

■取組概要

- 若宮川流域における流域治水対策
- 元飛行場跡地のため地表面勾配が平坦であり自然排水がされにくい特徴
- 最大貯留量7,900m³の調整池を整備する

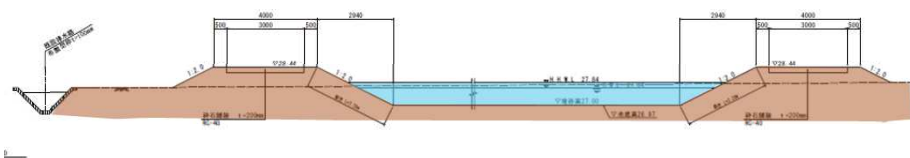
平成23年9月21日



平成26年10月6日

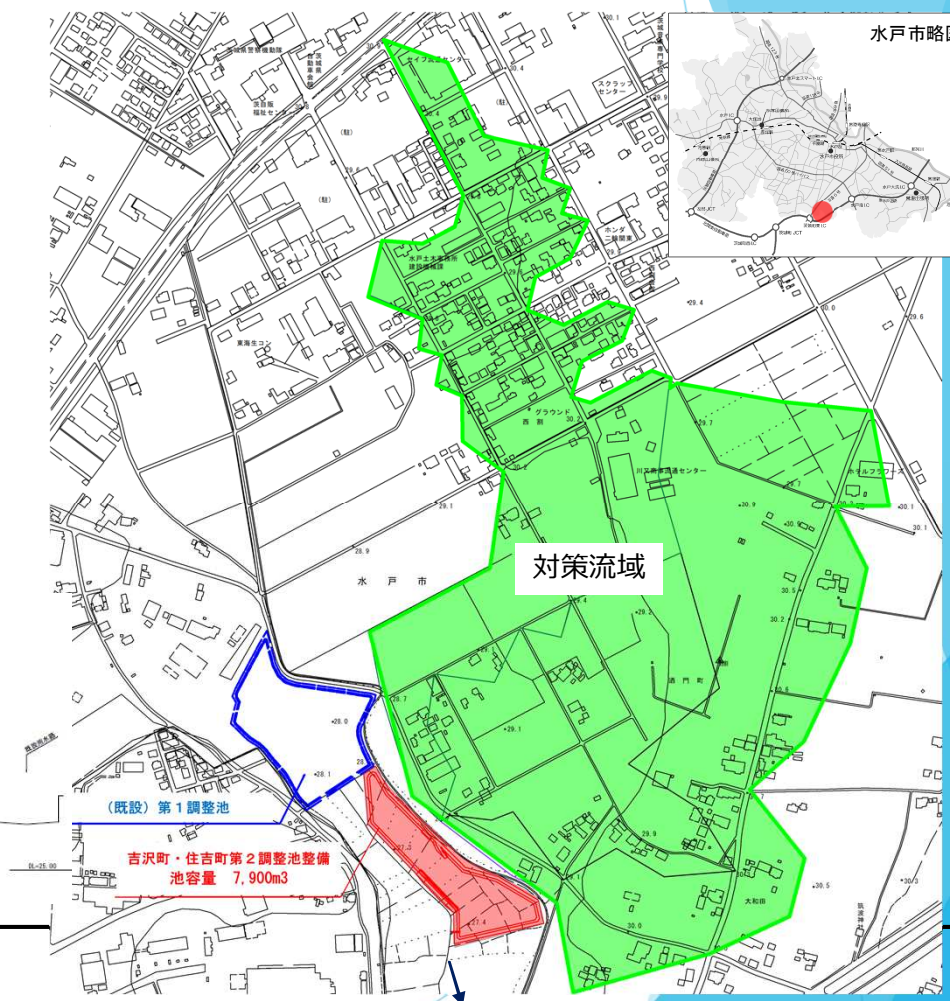


調整池標準断面図



■取組による効果

- ・下流河川への負荷軽減が期待される。
- ・内水はん濫による浸水被害の軽減が期待される。



取組②ー3 流域における雨水貯留機能の向上（各戸貯留の取組）

◆ 雨水貯留施設等の設置に対する助成

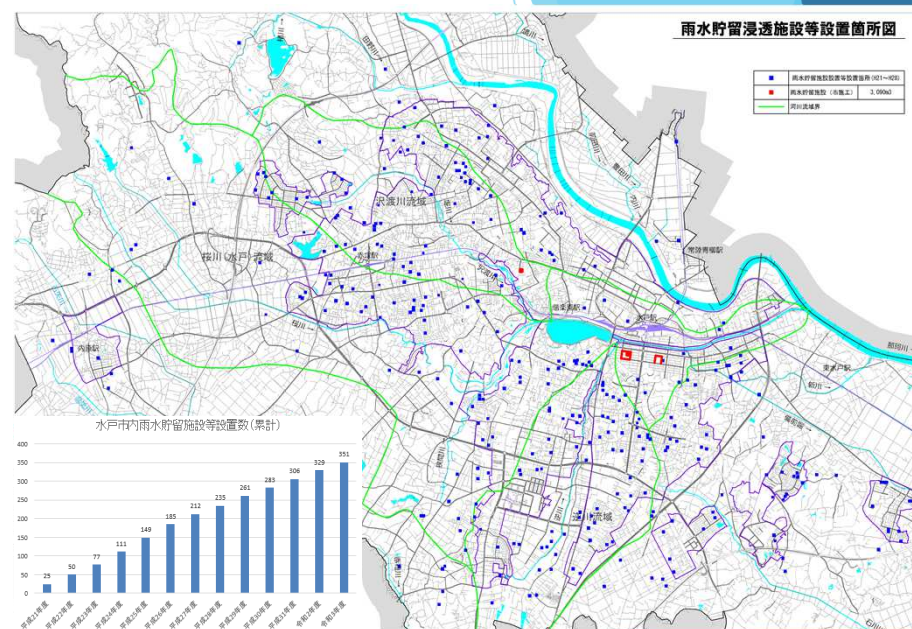
- 雨水貯留施設
- 雨水浸透施設（市街化区域のみ）
- 浄化槽転用施設



市内全域において、
申請 350件超、約70,000 L
の雨水貯留浸透機能が向上



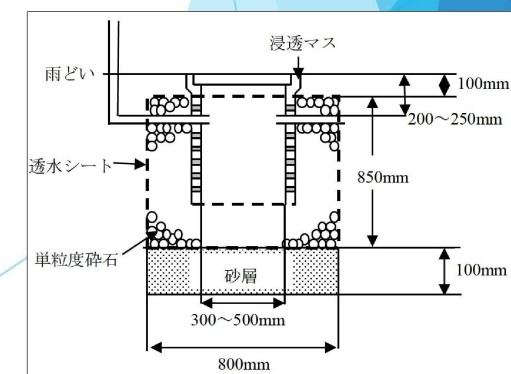
「流域治水」に対する意識醸成に繋げる



設置状況図（R3時点）



雨水貯留施設設置状況



雨水浸透施設の概要

目 次

取組①

水害リスクの見える化（情報発信の強化）

取組②

流域における雨水貯留機能の向上
（調整池整備，各戸貯留の取組）

今後の取組①

水戸市立地適正化計画の見直し（防災指針の策定）

今後の取組②

準用河川における氾濫推定図の作成に向けて

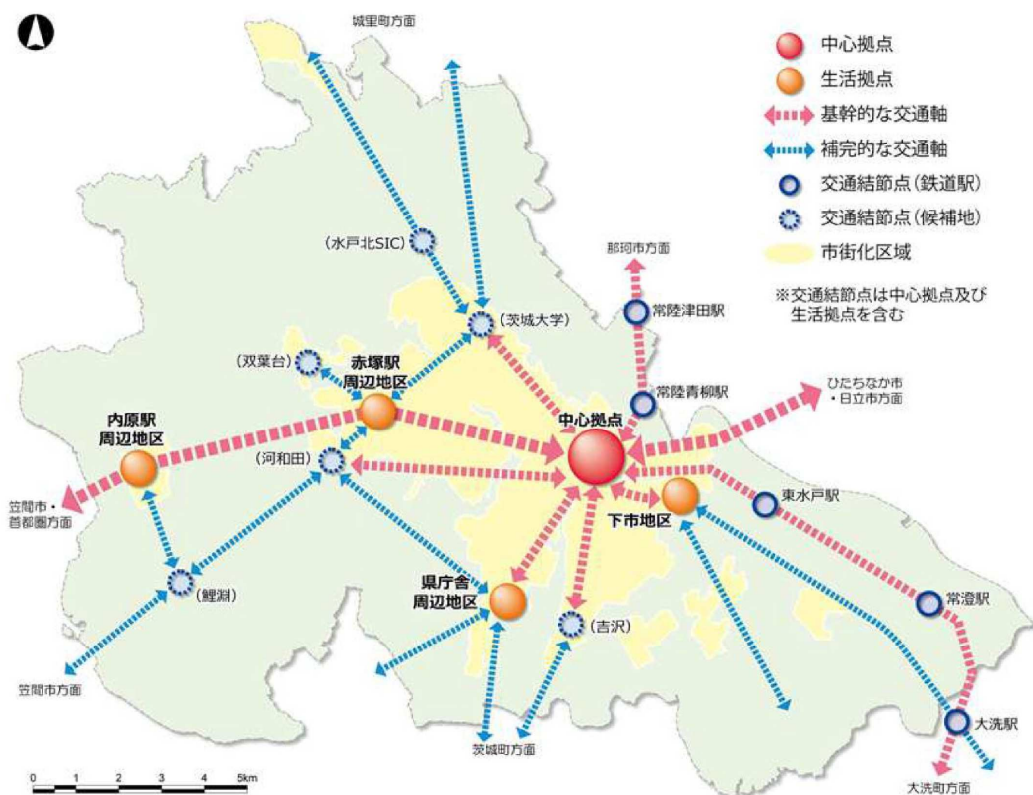
今後の取組① 水戸市立地適正化計画の見直し ～防災指針の策定～

○水戸市立地適正化計画の見直し（防災指針の策定）
（令和6年度改定予定）

居住誘導区域等における災害リスクの
分析と防災・減災に向けたまちづくりに向けた
課題の抽出

災害リスクの回避・低減のための
取組方針の策定

防災まちづくりの更なる推進



将来の都市構造（現行の水戸市立地適正化計画より）

目 次

取組①

水害リスクの見える化（情報発信の強化）

取組②

流域における雨水貯留機能の向上
（調整池整備，各戸貯留の取組）

今後の取組①

水戸市立地適正化計画の見直し（防災指針の策定）

今後の取組②

準用河川における氾濫推定図の作成に向けて

今後の取組② 準用河川における氾濫推定図の作成に向けて

